

「六つ星山の会」30周年に寄せて

六つ星山の会会長 葛貫重治

1982年に結成された「六つ星山の会」は、今年、創立30周年を迎えました。記念集会、記念山行と行ってまいりましたが、この記念誌の発行はその3本目の柱となるものです。

「山に登ってみたい」「自然を楽しみたい」という視覚障害者の願いに添えて発足した私たちの会は、多くの健常者の皆様方の支えのもとに、この30年を歩んでまいりました。はじめは東京近辺の山々の登山から始まりましたが、今ではその活動範囲を全国各地に広げてきました。そして今や、視覚障害者の登山グループが、全国に広がっています。そのことにも大きな喜びを感じています。

この記念誌に収録した資料は、そうした六つ星山の会の30年間の活動の様子を報じる、新聞記事の一部をまとめたものです。まさに六つ星山の会の発展の様子が克明に記録されたものになっているかと思えます。ぜひともこの冊子をひも解いていただき、会の歴史に学び、また今後の更なる発展の一助として、会員はもとより一人でも多くの登山関係者の皆様方にお読みいただければ幸いです。

私は、三一東日本大震災と福島原発事故を体験するなかで、会の活動を発展させるキーワードとして、「平和、自然、人権」という三つの言葉を考えています。平和的な国家と社会が維持され、自然環境が大切にされ、人間らしい営みが保障されてこそ、ヒトは人間として生き続けることが出来ます。私は皆さんとともに、このキーワードを大切にする決意を新たにしつつ、巻頭の言葉とします。



中村 寛

新聞、山岳誌で紹介された記事

- 全盲の人たち奥多摩に登る 朝日新聞 1982年
- 山の景色を八ダで見ると 読売新聞 1983年
- 腕さえ借りれば富士山歩きも大丈夫 山と溪谷 1983年
- 上田市の市民の山、太郎山に登る 信州民報 1984年
- 視覚障害者に手を貸して 朝日新聞 1987年
- 日本第2の高峰、南ア・北岳に登る 山と溪谷 1987年
- 全盲者、槍ヶ岳頂上で固い握手 朝日新聞 1988年
- 山は招く「六つ星」の仲間 日本経済新聞 1988年
- 山岳会訪問 六つ星山の会ヒストリー 1988年
- 『六つ星山』の会が創立10周年 読売新聞 1991年
- 山好きな方 ぜひ参加を!! 東京新聞 1991年
- 視覚障害者とともに目指した赤岳・硫黄岳 掲載誌不明 1991年
- 視覚障害者八ヶ岳に挑戦 想像の翼を広げて 岳人 1991年
- 厚生大臣表彰授与 山と溪谷 1992年
- 音や感触で楽しむ 季刊MIMI 1992年
- 視覚障害の人たちと山へ行こう 山と溪谷 1994年
- ボランティア訪問 朝日新聞 1994年
- 視覚障害者とボランティアが一体となって山歩き 三井船舶振興会 1994年
- 視覚障害者・晴眼者ともにつくる山の味わい 季刊福祉労働 1994年
- 私のボランティア 暮いの手帖 1994年
- 冷たい雨に燃えた奥穂高体感登山 岳人 1996年
- 視覚障害者交流登山200人以上が参加 毎日新聞 1997年
- 雲海の彼方、眺望を開けた 日本経済新聞 2001年
- バリアフリー登山提唱 東京新聞 2001年
- やっばり山は楽しい 岳人 2001年
- 創立20年を迎えた障害者登山の元祖、六つ星山の会 パンロン・ボランティアをする盲目の税理士
- 今度はお母さんを富士山に案内したい 山の会を知り合い結婚し、山を歩く
- マラン・ノット、ロッククライミング、盲目のアウトドマン ボランティアの喜び 同上 2001年
- 視覚障害者登山の道をひらいた松本克彦さんにサリバ賞 掲載誌不明 2000年
- ともに踏む山道の雪 視覚障害 2000年
- マー君のやっばり山は楽しい!! 岳人 2000年
- 全盲邦人男性台湾最高峰を制覇 掲載誌不明 2000年
- 視覚障害者5人白神岳登頂成功 東奥日報 2000年
- ともに歩く『目の探訪記』① 毎日新聞 2000年
- ともに歩く『目の探訪記』⑦ 毎日新聞 2000年
- 山歩き団体協力者募る 読売新聞 2010年
- 視覚障害者全国交流登山大会 風で感じる山の景色 毎日新聞 2010年
- 視覚障害者全国交流登山大会 風と「景色」感じて共有 毎日新聞 2010年
- 視覚障害者ら「歩き初め」 読売新聞 2012年
- 視覚障がい者とつじつま「山を楽しむ」 山と溪谷 2012年
- ボランティア紹介 六つ星山の会 三鷹ガス化学タープ報 W A I 2012年
- 視覚障害者と山歩き30周年 読売新聞 2012年
- 視覚障害者と楽しく 読売新聞 2014年
- 視覚障害者の登山支えて 日本経済新聞 2017年

編集後記

六つ星山の会 30年の歩み



斉藤真砂子